

平成 28 年度

事業報告書

自：平成 28 年 4 月 1 日

至：平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本食品化学研究振興財団

目 次

I	事業概要	1
II	事業の実施状況	1
1	助成事業	1
(1)	研究助成事業	1
(2)	シンポジウム開催等助成事業	1
(3)	奨学助成事業	2
2	情報収集、提供	2
(1)	ホームページによる情報提供	2
(2)	研究成果報告書の発刊	2
3	調査研究事業	3
(1)	民間からの受託事業	3
III	管理運営業務	3
(1)	会議の開催	3
(2)	平成 28 年度主要業務	3
IV	組 織	3
V	付属証明書	3
(資料)		
別紙 1	平成 28 年度 (第 23 回) 研究助成金交付対象者	4
別紙 2	平成 29 年度 (第 24 回) 研究助成金交付対象者	6
別紙 3	平成 28 年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	9
別紙 4	平成 29 年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	10
別紙 5	公益財団法人日本食品化学研究振興財団ホームページ コンテンツ	11
別紙 6	平成 28 年度主要事業記録	12
別紙 7	組織	13

平成 28 年度 事業報告書

I 事業概要

平成 28 年度の助成事業については、平成 27 年度に引き続き公益目的事業である食品化学に関する研究・シンポジウム開催等に対する助成事業を進めるとともに、新たに東南アジアから日本への留学及び日本の研究者の海外への留学に係る奨学助成事業を開始した。

情報提供事業については、食品添加物その他食品化学に関する情報の収集とホームページ上で情報提供を平成 27 年度に引き続き実施した。

調査研究事業については、民間からの受託事業として、EU の企業より日本に新たに申請する添加物の安全性調査事業を受託した。

II 事業の実施状況

1 助成事業

(1) 研究助成事業

1) 平成 28 年度研究助成

平成 28 年 3 月に開催された選考委員会において選考し、同月開催の理事会にて決定した助成金交付対象者 27 件に対して、同年 5 月、研究助成金（総額 2,200 万円）を交付した。（交付対象者及び助成額は「別紙 1」のとおり）

2) 平成 29 年度研究助成選考

① 募集公告

平成 28 年 9 月、本財団の助成対象の研究分野に関連のある専門誌（日本食品化学学会誌等 8 誌）及び関係学会（日本食品化学学会等 10 学会）のホームページに同募集公告の掲載を依頼すると共に、28 年 10 月本財団ホームページにおいて募集公告を掲載し、助成対象者の公募を行った。

② 研究課題

平成 27 年度に引き続き、一般研究と課題研究（予め本財団が研究分野を定め、その分野内で申請者が課題を定めて行う研究）とに分けて助成申請の募集を行った。

③ 申請受付

平成 28 年 11 月 15 日～平成 29 年 1 月 15 日の 2 か月間、助成申請を募集し、54 件（一般研究 25 件、課題研究 29 件）の申請を受理した。

④ 選考委員会審査

平成 29 年 3 月 2 日開催の第 14 回選考委員会において審査を行い、一般研究 14 件、課題研究 14 件の助成対象候補を決定した。

⑤ 理事会決定

平成 29 年 3 月 3 日開催の第 25 回定時理事会において、選考委員会の選考結果に基づき審議を行い、28 件（総額 2,200 万円）の研究助成金交付を決定した。（交付対象者及び助成額は「別紙 2」のとおり）

(2) シンポジウム開催等助成事業

1) 平成 28 年度前期（平成 28 年 4 月～9 月）

平成 28 年度研究助成と並行して、前期シンポジウム助成の公募、選考、助成決定を行い、平成 28 年 4 月、2 件に助成金（総額 140 万円）を交付した。

(交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり)

2) 平成28年度後期(平成28年10月～平成29年3月)

平成28年度後期におけるシンポジウム開催等の助成対象者を募集するため、専門学会誌及び関係団体ホームページ並びに本財団ホームページに募集公告を掲載した。

平成28年7月1日～31日の1か月間募集を行い、平成28年8月31日開催の第12回選考委員会で選考を行い、9月15日開催の第23回臨時理事会で助成対象者を決定し、同年10月、4件に助成金(総額110万円)を交付した。

なお、このうち1件はシンポジウム開催後、収入が予算より大きくなったことから財団からの助成金(30万円)について返金があった。

(交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり)

3) 平成29年度前期(平成29年4月～9月)

平成29年度研究助成と並行して、平成29年度前期シンポジウム助成の募集公告、募集、助成対象の選考、助成決定を行い、1件(80万円)の助成を決定した。

(交付対象者及び助成額は「別紙4」のとおり)

(3) 奨学助成事業

1) 平成28年度

平成26年度に決定した方針により、平成28年度から奨学助成金の交付を開始した。

平成28年度は、平成27年度において助成決定された海外からの日本への留学生1名及び日本から海外への留学生1名、計2名について助成(総額190万円)を行った。

2) 平成29年度

平成28年9月15日～10月31日の1か月半の間、本財団ホームページに募集公告を掲載するとともに、関係団体ホームページに募集公告掲載を依頼することにより公募を行った。

その結果、海外からの日本への留学生3名(継続1名を含む)及び日本から海外への留学生1名の申請があった。

これらの申請者に対して、11月25日、選考委員1名及び事務局スタッフによる面接を行い、12月7日に開催された第13回選考委員会で審査のうえ、助成対象候補者を決定した。

選考委員会が選考した助成対象候補者について、12月26日開催の第24回臨時理事会で審議を行い、申請者3名に対する助成(総額270万円)を決定した。

なお、その後、1名より奨学助成の辞退の申出があった。

2 情報提供事業

(1) ホームページによる情報提供 (<http://www.ffcr.or.jp/>)

平成10年4月にホームページを開設し、食品添加物その他食品化学に関する内外の情報を収集・整理し提供しており、平成28年度においても逐次最新の情報に更新し、内容の充実を図った。掲載情報の内容については、「別紙5」のとおりである。

平成28年度のホームページへのアクセス件数は、130,510件で、対前年度11,377件の減(8.0%減)であった。

(2) ホームページの改修のための基本設計

ホームページの閲覧性の向上等を目的として財団のホームページの全面的な改修を28、29年度の2年計画で行うこととし、平成28年度においては、ホームページの構造設計等の基本設計を行った。(29年度にサーバー全面更新と合わせて、新たなホームページの更新を完了する。)

(3) 研究成果報告書の発刊

平成 27 年度の研究助成者から提出された研究報告書を取りまとめた「公益財団法人日本食品化学研究振興財団 第 22 回研究成果報告書」を、平成 28 年 12 月 15 日刊行し、当該研究者をはじめ、厚生労働省及び附属研究所、国立国会図書館、各都道府県衛生研究所、関係団体等へ配付した。

3 調査研究事業

(1) 民間からの受託事業

EU の民間企業より委託を受け、新規食品添加物について、安全性に関する調査を行い、報告書を取りまとめた。

III 管理運営業務

- 1 会議の開催
 - ・理事会 4回 (定時理事会 2回、臨時理事会 2回)
 - ・評議員会 1回 (定時評議員会 1回)
 - ・選考委員会 3回

2 平成 28 年度主要事業

平成 28 年度の主要事業については、「別紙 6 平成 28 年度主要事業記録」のとおりである。

IV 組織

平成 28 年度末における本財団の組織については、「別紙 7」のとおりである。

V 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

平成28年度（第23回） 研究助成金交付対象者

1：一般研究

交付対象者	研 究 課 題	助成額 (万円)
国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター病理部 主任研究官 石井 雄二	香気成分エストラゴールの突然変異誘発過程における細胞増殖活性亢進機序の解明	80
徳島大学大学院医歯薬学研究部 助教 上番増 喬	幼児期の甘味料・保存料の摂取が、腸内細菌叢と全身代謝に及ぼす影響の解明	90
国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部 室長 大城 直雅	魚類食中毒シガテラの原因物質シガトキシン類分析のための標準試料作製検討	100
大阪市立大学大学院医学研究科 准教授 魏 民	食品添加物の安全性評価のためのヒ素発がん機序の解明	70
北海道大学大学院農学研究院 准教授 小林 謙	授乳期における非糖質系甘味料の摂取が乳腺上皮細胞の乳汁分泌能に及ぼす影響	100
山形大学農学部 准教授 笹沼 恒男	ベニバナの食品添加色素収量の増加及び安定化に向けた遺伝育種学的研究	80
麻布大学獣医学部 教授 代田 真理子	大豆イソフラボンの乳幼児における安全性確立に向けた生殖内分泌学的研究	90
国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部 室長 杉本 直樹	食品添加物等の各種理化学情報検索システム構築に関する研究	130
麻布大学生命・環境科学部 准教授 関本 征史	食品添加物と環境化学物質の混合曝露による複合免疫毒性発現の可能性	90
中部大学応用生物学部 教授 津田 孝範	食品添加物の消化管ホルモンGLP-1(Glu c agon-like peptide-1)の分泌促進作用とその機序解明	90
国立医薬品食品衛生研究所食品部 室長 堤 智昭	自動前処理装置を用いた食品中のポリ塩化ビフェニル分析法の開発に関する研究	80
食品総合研究所食品安全研究領域 主任研究員 中川 博之	国産ワイン原料におけるフモニシン産生菌の分子分類学的系統解析とフモニシン産生機構の解明	100
名古屋市立大学大学院薬学研究科 講師 西塚 誠	アディポサイトカインの発現変化を指標とした食品添加物の新しい安全性評価系の開発	80
東京農工大学大学院工学研究院 助教 宮原 平	ニンジンのアントシアニン構造と色調に関する研究	80
大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 八十島 安伸	人工甘味料の慢性摂取が血糖や摂食の調節に関わる脳機構に及ぼす影響の神経科学的研究	50
名古屋大学大学院情報科学研究科 教授 吉田 久美	食用植物由来のアントシアニン色素の発色と安定化機構の研究	100

東京農工大学大学院農学研究院 准教授 吉田 敏則	高脂肪飼料及び酵素処理イソクエルシトリン摂取時の利尿作用及び脂肪低減作用に関する研究	70
--------------------------------	--	----

一般研究 17件 1480万円

2：課題研究

2-1 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
星薬科大学薬動学教室 助教 五十嵐 信智	薬物代謝酵素の発現および活性に及ぼす既存添加物ポリフェノールの影響とそのメカニズムの解析	80
富山県立大学工学部 准教授 生城 真一	食品添加物代謝プロファイル予測を目指した抱合代謝物ライブラリーの構築	40
東京農業大学応用生物科学部 助教 煙山 紀子	生活習慣病の分子標的制御に資する甘味料の効果とその背景機構に関する研究	80
名古屋市立大学大学院薬学研究科 講師 寺坂 和祥	配糖体の消化管吸収過程におけるLPHの特性評価	80
鈴鹿医療科学大学薬学部 助手 廣田 佳久	食品添加物ビタミンK ₁ 水素付加物 (2',3'-PKH ₂)の生体内代謝機構に関する研究	40

2-2 食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安定性向上に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
岐阜薬科大学薬物送達学大講座 講師 田原 耕平	食品添加物と加工法の最適化による液中分散食品成分の安定性制御	90
千葉大学大学院薬学研究院 教授 森部 久仁一	呈味・フレーバー成分を安定に保持する複合化技術に関する研究	100

2-3 各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物および食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
京都大学大学院農学研究科 教授 安達 修二	希少二糖を活用した賦形剤のガラス転移温度の調整によるフレーバーリリース速度の制御	80
食品総合研究所食品機能研究領域 上席研究員 日下部 裕子	甘味受容と唾液分泌の関係を利用した甘味シグナルの伝達および認知機構の解明	60
福岡大学工学部 准教授 三島 健司	天然物からの微量有用食品添加物の新規抽出および回収方法の開発	70

課題研究 10件 720万円
合計 27件 2200万円

平成29年度（第24回）研究助成金交付対象者

1：一般研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
愛媛大学理学部化学科 教授 長岡 伸一	食品における酸化防止剤の能力を評価する方法の開発	60
岐阜薬科大学生命薬学大講座生化学研究室 教授 五十里 彰	食品添加物によるマグネシウム欠乏の予防に関する食品科学的 研究	80
大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科 教授 神谷 重樹	食品添加物が歯周病原細菌に及ぼす影響の解析	60
国立医薬品食品衛生研究所有機化学部 室長 出水 庸介	化学合成によるカロテノイドの標品供給に関する研究	75
国立医薬品食品衛生研究所 生化学部第二室 室長 中村 公亮	遺伝子組換え食品の検査に及ぼす食品添加物の複合影響に 関する基礎的研究	120
中部大学応用生物学部食品栄養科学科 教授 津田 孝範	食品添加物の消化管ホルモンGLP-1(Glu c agon-like peptide-1)の分泌促進作用とその機序解明	80
立命館大学生命科学部生物工学科 教授 若山 守	加工食品中のアクリルアミド生成を効率的に抑制する乳酸 菌アスパラギナーゼの開発と食品添加剤としての乳酸菌ア スパラギナーゼの有用性を検証する	50
大阪大学総合学術博物館資料基礎研究系 特任助教 高浦 佳代子	安全・高品質な国産サフラン生産拡大のためのアクション リサーチ：アグリセラピーへの応用と地域健康力の向上	60
大阪薬科大学製剤設計学研究室 助教 内山 博雅	酵素処理イソクエルシトリンを用いた高付加価値機能性食 品の開発	50
大阪市立大学大学院医学研究科 准教授 魏 民	食品添加物の安全性評価のためのヒ素発がん機序の解明	100
国立医薬品食品衛生研究所生薬部第二室 主任研究官 政田 さやか	機能性関与成分として使用されている食品添加物の実態調査 研究	100
国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部第二室 室長 大城 直雅	魚類食中毒シガテラの原因物質シガトキシン類分析の ための標準試料作製検討	80
国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター病理部 主任研究官 高須 伸二	肝前がん病変の生物学的特徴を考慮したfuran類香料の肝発 がん性評価の精緻化	120
国立医薬品食品衛生研究所食品部第二室 室長 堤 智昭	自動前処理装置を用いた食品中のポリ塩化ビフェニル分析法の 開発に関する研究	80

一般研究 14件 1115万円

2：課題研究

2-1 食品添加物の体内動態及び生体に対する影響に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
山梨大学大学院総合研究部生命環境学域 教授 望月 和樹	末梢血白血球に発現する炎症性サイトカインを用いた食品添加物の安全性・有効性の評価系の構築	80
修文大学健康栄養学部管理栄養学科 准教授 丹羽 利夫	クルクミンのヒト腸内細菌代謝産物の化学構造に関する研究	80
千葉大学大学院 薬学研究院病態分析化学研究室 助教 東 恭平	コンドロイチン硫酸存在下で抗炎症作用を発揮する腸内微生物由来代謝産物の探索	60
東京海洋大学学術研究院 食品生産科学部門 准教授 久田 孝	食中毒菌の侵入・感染におよぼすアルギン酸ナトリウムと乳酸菌の影響	80
静岡県立大学 食品栄養科学部食品衛生学研究室 助教 島村 裕子	細菌性スーパー抗原毒素の生体内影響の発現に対するポリフェノール系既存食品添加物の制御とその作用メカニズムの解明	80
名古屋市立大学大学院 薬学研究科生薬学分野 講師 寺坂 和祥	配糖体の消化管吸収過程におけるLPHの特性評価	70
東京農業大学 応用生物科学部食品安全健康学科 助教 煙山 紀子	生活習慣病の分子標的制御に資する甘味料の効果とその背景機構に関する研究	120
東京農工大学大学院 農学研究院動物生命科学部門 教授 渋谷 淳	既存添加物 酵素処理イソクエルシトリンの体内動態および生体影響に関する研究	100

2-2 食品添加物を利用した食品及び食品素材の保存・安定性向上に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
東京工科大学応用生物学部応用生物学科 教授 遠藤 泰志	油脂の加熱調理における有害物質アクロレインの生成に対する乳化剤の抑制効果	50
福岡県工業技術センター 生物食品研究所食品課 専門研究員 塚谷 忠之	有機酸を中心とした食品添加物の併用効果による食中毒菌由来バイオフィルムの制御	70
麻布大学獣医学部動物応用科学科 講師 竹田 志郎	乳清タンパク質酵素分解物による亜硝酸塩の食肉発色促進作用に関する研究 -発色剤使用量低減を目指した研究	60

2-3 各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物及び食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究

交付対象者	研 究 課 題	助成額 (万円)
千葉大学環境健康フィールド科学センター 植物化学研究室 講師 加川 夏子	栽培環境により変動するハーブの二次代謝成分量の分析調査	100
農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門食品健康機能研究領域 感覚機能解析ユニット ユニット長 日下部 裕子	唾液分泌および唾液成分変化を利用した甘味に対する香の効果を評価する方法の開発	60

2-5 各国における食品添加物規制の実際と比較に関する調査・研究

交付対象者	研 究 課 題	助成額 (万円)
多摩美術大学 美術学部グラフィックデザイン学科 非常勤講師 日高 杏子	イギリスの伝統的菓子におけるタール色素規制の調査	75

課題研究 14件 1085万円
合 計 28件 2200万円

平成28年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
第17回嗅覚・味覚国際シンポジウム 組織委員会 (九州大学大学院歯学研究院 教授) 二ノ宮 裕三	第17回嗅覚・味覚国際シンポジウム	40
日本食品化学学会 (高知県立牧野植物園 園長) 水上 元	日本食品化学学会 第22回総会・学術大会	100

小 計 140万円

(後期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
日本食品衛生学会 第112回学術講演会 実行委員長 川合 祐史	第112回日本食品衛生学会学術講演会 公開シンポジウム 「食料基地北海道における食の安全とバ リューチェーン」	30
日本食品化学学会 (サントリービジネスエキスパート(株) 代表取締役社長) 辻村 英雄	第32回食品化学シンポジウム 「食品化学から見たTPP」	40
第3回国際こめ油会議組織委員会 (東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授) 宮澤 陽夫	第3回国際こめ油会議	20
日本マイコキシン学会 (麻布大学 教授) 小西 良子	日本マイコキシン学会国際シンポジウム2016 「カビ毒問題の相互理解とアジア間ネットワークの 強化」	20

小 計 110万円

合 計 250万円

平成29年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
日本食品化学学会 (三重大学大学院生 物資源学研究科 教授) 奥村 克純	日本食品化学学会 第23回総会・学術大会	80

合 計 80万円

公益財団法人日本食品化学研究振興財団ホームページ [\(http://www.ffcr.or.jp/\)](http://www.ffcr.or.jp/)
コンテンツ

(1) 食品添加物関係情報

①食品添加物リスト

指定添加物リスト、既存添加物リスト、天然香料基原物質リスト（和、英）
安全性審査の手続きを経た遺伝子組換え添加物一覧
食品添加物使用基準リスト（和、英）
第8版 食品添加物公定書（英文） 等

②新食品添加物の指定

食品添加物の指定及び使用基準改正に関する指針（和、英）
食品添加物指定等要請資料作成の手引き（和、英）
食品安全委員会 新食品添加物安全性評価、資料等
食品添加物指定・削除一覧 等

③食品添加物の安全性

食品添加物のJECFAによる安全性評価
既存添加物の安全性評価、食品添加物一日摂取量調査 等

④外国の食品添加物

FDA 21CFR（和訳） 等

⑤食品添加物の表示（消費者庁へのリンク）

(2) 残留農薬関係情報

①残留農薬ポジティブリスト制度（和、英）

基準値一覧表、食品分類表 等

②食品中の残留農薬検査結果、畜産食品の残留物質モニタリング検査結果

(3) 「食品中の化学物質」「容器・包装」関係資料

(4) 研究助成成果報告

財団法人日本食品化学研究振興財団研究成果報告（和、英）

(5) 厚生労働省食品化学情報

(6) 食品安全委員会情報

平成28年度主要事業記録

年月日	主要事業記録
平成28年4月14日	第22回定時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社工場） ・平成27年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 ・代表理事職務執行状況の報告、他
平成28年5月12日	第7回定時評議員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社工場） ・平成27年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 ・任期満了に伴う評議員の選任に関する件、他
平成28年5月13日	第23回研究助成金贈呈式（於：リーガロイヤルホテル）
平成28年7月1日	平成28年度（後期）シンポジウム開催等助成申請の受付（7月中）
平成28年8月31日	第12回選考委員会（書面表決） ・平成28年度（後期）シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件、他
平成28年9月15日	第23回臨時理事会（書面表決） ・平成28年度（後期）シンポジウム開催等助成対象の決定に関する件、他
平成28年9月15日	平成29年度奨学助成申請の受付（10月31日まで）
平成28年11月15日	平成29年度研究助成及び前期シンポジウム開催等助成申請の受付 （平成29年1月15日まで）
平成28年12月6日	民間企業から、膨張剤及びpH調整剤用途の添加物1品目に係る新規指定要請に向けた調査研究を受託
平成28年12月7日	第13回選考委員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社工場） ・平成29年度奨学助成対象の選出に関する件、他
平成28年12月15日	第22回研究成果報告書刊行
平成28年12月26日	第24回臨時理事会（書面表決） ・平成29年度奨学助成対象の決定に関する件、他
平成29年3月2日	第14回選考委員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社工場） ・平成29年度研究助成対象及び（前期）シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件、他
平成29年3月3日	第25回定時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社工場） ・平成29年度事業計画及び収支予算の承認に関する件 ・平成29年度研究助成対象及び（前期）シンポジウム開催等助成対象の決定に関する件 ・代表理事職務執行状況の報告、他

組 織

1 役員		
理事長	清水 孝重	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 会長兼社長
専務理事	長野 健一	公益財団法人 日本食品化学研究振興財団
理事	井上 健夫	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役常務執行役員
〃	神崎 浩	岡山大学大学院 環境生命科学研究科長
〃	黒川 達夫	日本OTC医薬品協会 理事長
〃	小林 資正	大阪大学大学院薬学研究科 教授
〃	清水 康弘	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 副社長
〃	下村 講一郎	東洋大学食環境科学部 教授
〃	關谷 次郎	学校法人京都学園 参与
〃	伏木 亨	龍谷大学農学部 教授
監事	尾川 雅清	シリウス法律事務所 弁護士
〃	築地 雅樹	築地公認会計士事務所 公認会計士
2 評議員	浅井 以和夫	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役執行役員
〃	久保田紀久枝	東京農業大学総合研究所 教授
〃	中江 大	東京農業大学応用生物科学部 教授
〃	中垣 俊郎	京都府立医科大学大学院医学研究科 教授
〃	船見 孝博	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社第一事業部 部長
〃	松浦 壽喜	武庫川女子大学生生活環境学部 教授
〃	山崎 裕康	神戸学院大学薬学部 教授
〃	山元 弘	神戸学院大学薬学部 教授
3 選考委員	伊藤 美千穂	京都大学大学院薬学研究科 准教授
〃	井部 明広	実践女子大学生生活科学部 教授
〃	今井田 克己	香川大学 医学部長
〃	梅村 隆志	国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター病理部 室長
〃	小関 良宏	東京農工大学大学院工学研究院生命機能科学部門 教授
〃	合田 幸広	国立医薬品食品衛生研究所 薬品部長
〃	小林 資正	大阪大学大学院薬学研究科 教授
〃	清水 誠	東京農業大学応用生物科学部 教授
〃	山元 弘	神戸学院大学薬学部 教授
〃	山本 史	厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部 基準審査課長
4 事務局	伊藤 哲夫	参事
〃	田邊 伸也	事務局長
〃	中村 明淑	
東京分室	高山 昌也	顧問
〃	鵜狩 真理子	